

第11回 山梨県 地域年金事業運営調整会議（資料）

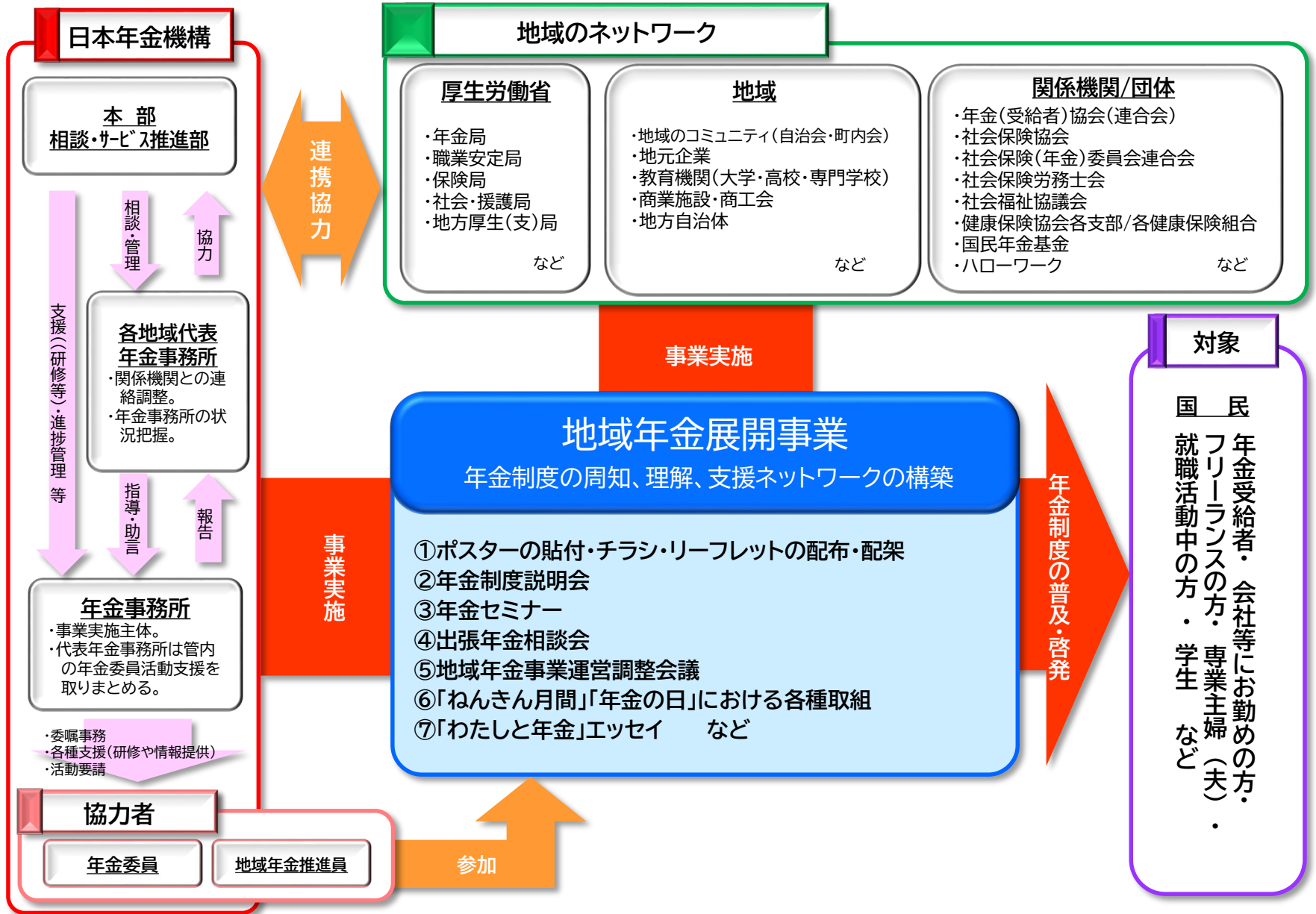


令和5年7月6日

甲府年金事務所・大月年金事務所・竜王年金事務所
(山梨県代表事務所)

1. 地域年金展開事業の概要	P 2
2. 令和4年度事業実施結果（令和4年4月～令和5年3月）	P 4
3. 令和4年度各拠点での取組事例等	P 8
4. これまでの会議で出た意見及び課題への対応	P13
5. 令和5年度の事業計画	P14

1. 地域年金展開事業の概要 (1/2)



1. 地域年金展開事業の概要 (2/2)

地域年金展開事業の主な取組

- ◆ 公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。
- ◆ また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

《取組内容》

地域連携事業

- ・ 職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。
- ・ 市役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。

年金セミナー事業

- ・ 職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。
- ・ 大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。

地域相談事業

- ・ 年金事務所から遠方の地域住民や利便性向上などのニーズに応えるため、市役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。

年金委員活動支援事業

- ・ 年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。

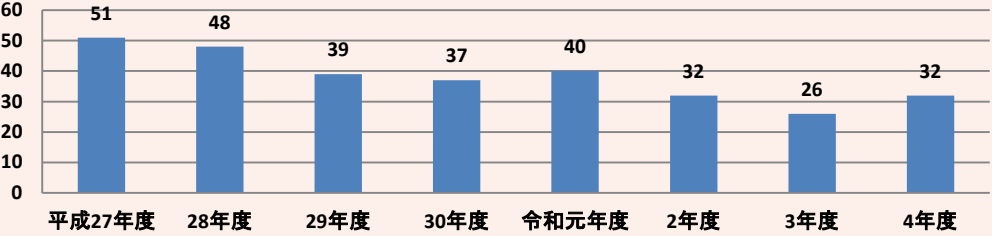
地域年金事業運営調整会議

- ・ 公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。

2. 令和4年度事業実施結果（1/4）

事業名	実施した事項	課題等
地域連携事業	<p>①教育機関等へのポスターの掲示やリーフレットの配布の協力依頼 →「わたしと年金」エッセイ募集のポスターの掲示とリーフレット配布の協力を県内全中学、全高校、全大学、全専門学校及び各公共団体に依頼しました。 （ご協力いただいた教育機関1校へ感謝状授与）</p> <p>②企業等における年金制度説明会 →厚生年金保険適用事業所等の協力を得て、WEBによる新規適用事業所への事務手続説明会に積極的に取り組みました。 年間10回、参加者数 延べ233事業所（前年6回実施）</p> <p>③関係機関の広報誌等による周知・啓発 →関係機関のご協力により、年金制度に関する記事を掲載いただきました。 県内市町村、県内商工会議所、山梨社会保険協会、山梨県社会保険委員会連合会、山梨労働局、山梨県社会保険労務士会、総務省行政評価事務所、山梨県（教育庁）等</p>	

2. 令和4年度事業実施結果（2/4）

事業名	実施した事項	課題等																		
年金セミナー事業	<p>①教育機関における年金セミナーの実施</p> <p>→令和4年度は、管内の大学、短期大学、専門学校および高等学校等を対象に、通期で31校32回（前年比23.1%増）、延べ3,628人（前年比52.7%増）の学生・生徒へ年金セミナーを実施しました。</p> <p>令和3年度と比べ対面での実施を希望する教育機関が多く、うち非対面型は、7回（21.9%）、延べ1,213人（33.4%）となっています。（令和3年度63.6%が非対面型で実施）</p> <p style="text-align: center;">実施回数(山梨県)</p>  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>実施回数(山梨県)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成27年度</td><td>51</td></tr> <tr><td>28年度</td><td>48</td></tr> <tr><td>29年度</td><td>39</td></tr> <tr><td>30年度</td><td>37</td></tr> <tr><td>令和元年度</td><td>40</td></tr> <tr><td>2年度</td><td>32</td></tr> <tr><td>3年度</td><td>26</td></tr> <tr><td>4年度</td><td>32</td></tr> </tbody> </table> <p>→年金セミナー実施の効果</p> <p>○年金セミナーアンケート結果</p> <p>年金のイメージにおける『まあ良い』以上の評価の状況について年金セミナー実施前は38.1%でしたが、年金セミナー実施後は91.3%に向上しました。</p>	年度	回数	平成27年度	51	28年度	48	29年度	39	30年度	37	令和元年度	40	2年度	32	3年度	26	4年度	32	<p>【課題】 講師職員のスキルアップ。</p> <p>【対応策】 演習および地域年金推進員による指導を実施。</p>
年度	回数																			
平成27年度	51																			
28年度	48																			
29年度	39																			
30年度	37																			
令和元年度	40																			
2年度	32																			
3年度	26																			
4年度	32																			

2. 令和4年度事業実施結果（3/4）

事業名	実施した事項	課題等
年金セミナー事業	<p>②年金セミナーの開催拡大に向けた取り組み</p> <p>→年金セミナーのアプローチ実施状況 令和4年4月山梨県教育委員会、教育庁、公立高等学校長会に協力依頼を実施しました。</p> <p>→地域年金推進員の支援による取り組み 地域年金推進員（県立高等学校関係者のOB）による勧奨が効果的に実施されるよう、代表年金事務所が定期的にフォローアップし、管内の公立高校を対象に具体的な勧奨計画を策定し取り組みました。</p>	<p>【課題】 公立高等学校の約5割、私立高等学校の約8割で実施できていない。</p> <p>【対応策】 私立学校への協力依頼を別途行う。</p> <p>【課題】 セミナーが毎年2月に集中する。</p> <p>【対応策】 新たに年金セミナーを実施する学校は2月を外す。</p>
地域相談事業	<p>①遠隔地における出張相談会の実施</p> <p>→市町村の協力で会場を借用し、年金事務所へ容易に相談に来られない地域の方を対象とした個別相談を実施しました。（34回 345人）</p> <p>②①で行う出張年金相談以外に実施する出張年金相談会</p> <p>→「県民の日」記念式典に参加し、制度周知チラシの配布と出張年金相談（相談件数9件）を行いました。</p>	<p>【課題】 左の出張相談会の他に、社会保険労務士が単独で出張年金相談を行っているが、利用者にばらつきがあり、相談件数が少ない場合が多い。</p> <p>【対応策】 実施場所・回数の見直し。</p>

2. 令和4年度事業実施結果（4/4）

事業名	実施した事項	課題等
<p style="text-align: center;">年金委員活動 支援事業</p>	<p>①年金委員への情報提供 →新たに年金委員となった方が円滑に活動することができるよう、委嘱時に「職域型（地域型）年金委員活動の手引き」を配付しました。 →地域型年金委員に対して定期的な情報提供を行うため、年4回（令和4年4月、7月、10月、令和5年1月）「年金委員通信」を発行しました。</p> <p>②年金委員研修会 →WEB会議サービスを使用した職域型年金委員研修会を開催しました。 参加者数延べ83人 →年金委員との間で情報や知識を共有し、委員活動を支援するため、全国年金委員研修会を開催しました。参加者数延べ15人(前年比+12人)</p> <p>③年金委員との連絡会等 →職域型年金委員：社会保険委員会各支部おける会議等において意見交換を実施しました。 →地域型年金委員：年金委員連絡会を開催しました。（実施回数2回）</p> <p>④年金委員表彰状伝達式 →事業功績のあった年金委員5名に表彰状を授与しました。</p> <p>⑤年金委員数（令和4年度末） 職域型年金委員 1,440人（前年度比 +81人） 地域型年金委員 70人（前年度比 +9人）</p>	<p>【課題】 「（地域型）年金委員としてどのような活動を行えばよいか分からない。」という声が未だに多い。</p> <p>【対応策】 お願いしたい活動内容を具体的に列挙し、できることから実施していただく。</p>

3. 令和4年度各拠点での取組事例等（1/5）

○ 地域連携事業

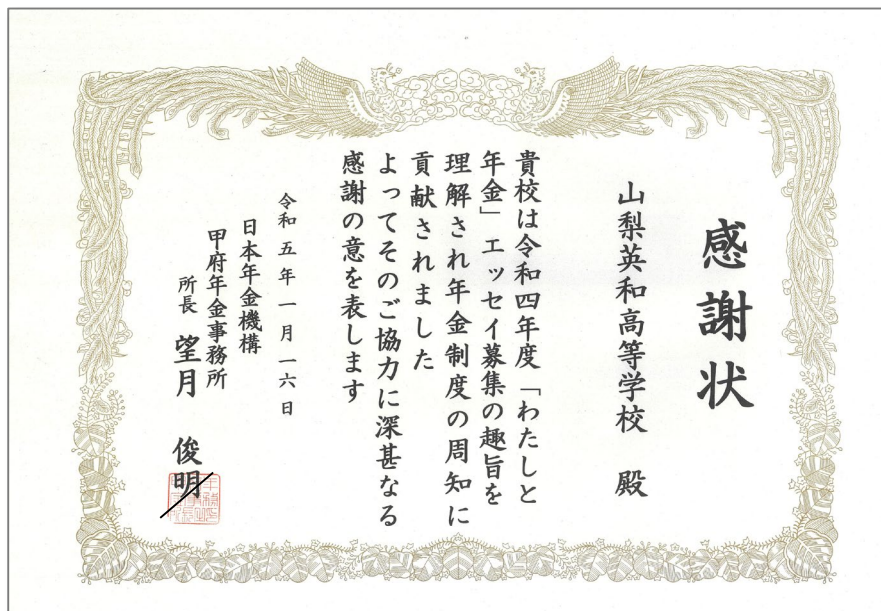
・教育機関等へポスター掲示やリーフレット配布の協力依頼
「わたしと年金」エッセイ募集のポスター掲示とリーフレット配布の協力を、山梨県内全中学、全高校、全大学、全専門学校及び各公共団体に依頼しました。

・ご協力いただいた教育機関へ感謝状を授与

例年、応募へのご協力に対する感謝表明と来年度以降の応募に繋げるため感謝状の授与を行っています。

令和4年度受賞校へは、令和5年1月16日に感謝状をお渡ししました。

山梨英和高等学校は令和2・3年度にも感謝状を授与されています。



3. 令和4年度各拠点での取組事例等（2/5）

○ 地域連携事業

・企業等における年金制度説明会

事務所	実施回数
甲府	8回（前年4回）
竜王	5回（前年1回）
大月	7回（前年2回）

【具体的な取組事項】

- 各組織における事務担当者や従業員等向け年金制度説明会
- 年金委員（職域型・地域型）との連携による周知・啓発
- 市町村広報誌を活用した周知・啓発
- 社会保険労務士会との連携による周知・啓発

- ・新規適用事業所WEB説明会を中心に実施しました。
- ・実施回数の合計は、複数事務所共同WEB開催があるため山梨県全体の実施回数（10回）と一致しません。

○ 地域相談事業

・出張年金相談を実施

山梨県内の各年金事務所では、市町村の協力を得て、年金事務所から遠距離にお住まいで、年金事務所のご利用が難しいお客様のために出張年金相談を定期的に行っています。

事務所名	実施回数	相談者数
甲府	12回	161人 前年139人
竜王	12回	136人 前年130人
大月	10回	48人 前年60人
合計	34回	345人 前年329人

遠隔地における出張年金相談を実施している市町村

【甲府年金事務所】・・・甲州市、山梨市

【竜王年金事務所】・・・北杜市

【大月年金事務所】・・・富士吉田市、富士河口湖町

令和4年度の相談者数は、前年比4.9%増の345人でした。

3. 令和4年度各拠点での取組事例等（3/5）

○ 地域相談事業

「年金の日」「ねんきん月間」の活動においては、令和4年11月20日(日)小瀬スポーツ公園における「県民の日」記念式典に参加し、制度周知チラシの配布と出張年金相談（相談件数9件）を行いました。

○ 年金セミナー事業

～教育機関別内訳～

教育機関	実施校数
大学・短期大学	4校（前年4校）
専門学校	4校（前年9校）
高等学校	22校（前年12校）
特別支援学校	1校（前年1校）
合計	31校（前年26校）

～年金事務所別内訳～

事務所名	実施回数
甲府	13回（前年10回）
竜王	11回（前年12回）
大月	8回（前年4回）
合計	32回（前年26回）



「県民の日」記念式典での出張年金相談

・各大学・専門学校における年金セミナー実施風景



オンライン実施の様子



対面実施の様子

3. 令和4年度各拠点での取組事例等（4／5）

○ 年金委員活動支援事業

・地域型年金委員向け情報誌『年金委員通信』の発行について

1 発行の目的

- 地域型年金委員は、個人で協力していただいている方も多く、地域住民に対して活動していただくためには、年金事務所から年金委員に対して積極的に働きかけ、両者で協力連携する必要があります。
- そのため、地域型年金委員が円滑に活動することができるよう、令和元年度より、年金に関する情報や地域型年金委員に協力をお願いしたい内容等を定期的にお知らせする情報誌を発行することとしました。

2 発行の概要

(1) 発行回数

年間4回発行（4、7、10、1月）

(2) 主な掲載記事

掲載記事	令和4年4月号	令和4年7月号	令和4年10月号	令和5年1月号
ねんきんトピックス	<ul style="list-style-type: none"> ①令和4年4月の年金制度改正について ②令和4年度の年金額の改定について 	<ul style="list-style-type: none"> ①短時間労働者の適用が拡大されます ②機構ホームページ「年金委員通信」をリニューアルしました ③国民年金の電子申請を開始しました ④国民年金保険料（令和4年度）の免除・納付猶予の受付開始 	<ul style="list-style-type: none"> ①障害者または長期加入者の特例該当者になる経過措置 ②年金生活者支援給付金請求書の提出について ③令和5年分公的年金等の受給者の扶養親族等申告書 	<ul style="list-style-type: none"> ①雇用保険における「雇用保険受給資格通知」の新設にかかる事務について ②社会保険料（国民年金保険料）控除証明書の電子送付サービスの開始について
各地域における活動	・東京都地域型年金委員連絡会の開催	・山梨県地域型年金委員連絡会の開催	・千葉県における年金セミナー・年金制度説明会の開催	・年金委員表彰状伝達式の開催

3. 令和4年度各拠点での取組事例等 (5/5)

○ 年金委員活動支援事業

・ 年金委員表彰式の実施について

令和4年11月17日に開催した年金委員・健康保険委員の表彰状伝達式及び合同研修会において、事業功績のあった年金委員を表彰（厚生労働大臣表彰、日本年金機構理事長表彰、日本年金機構理事表彰）しました。

令和4年度年金委員表彰・山梨県内の受賞者

厚生労働大臣表彰	1名
日本年金機構理事長表彰	3名
日本年金機構理事表彰	1名



令和4年度年金委員表彰式の会場風景（アピオ甲府）

・ 全国年金委員研修会の実施について

令和4年11月2日、日本年金機構本部による全国年金委員研修会が開催され、地域型年金委員は代表者数名が各年金事務所会議室に集合してテレビ会議にて参加し、職域型年金委員は職場からWEB会議サービスにより参加しました。

【研修内容】

- 年金制度改正等に関する説明（厚生労働省）
- 日本年金機構の事業等に関する説明（各事業部門の制度に関する説明）
- 年金委員活動に関する説明

【意見交換会】

- コロナ禍における年金委員の活動
- 年金委員の活動時における問題点（困っていること等）
- 機構に対する要望等



※写真の掲載についてご本人から許可をいただいています

4. これまでの会議で出た意見及び課題への対応

日付	事業名	意見・提案事項	対応状況
<p>令和4年7月25日 第10回 運営調整会議</p>	<p>年金セミナー事業</p>	<p>年金制度について、対象者別、テーマ別の説明動画を作成し、オンデマンドで視聴できる環境を整備する。その際、例題を出す等できるだけ分かりやすい内容にする。</p>	<p>日本年金機構ホームページにおいて年金制度についての説明動画を提供していますが、まだまだ改善の余地があると考えています。いただいたご意見をもとに、より効果的な情報提供ができるよう機構本部に提案していきます。</p>
		<p>これまで高校3年生の卒業間近の巣立ち教室として年金セミナーを開催する機会がほとんどだったが、1・2年生を対象とした説明も視野に入れ実施していただきたい。 小中学生はやらないのか。</p>	<p>若い方に対しては、できるだけ早い時期に年金制度について啓発していくことが大切なので、20歳直前でなくても、機会をとらえて実施していきたいと考えています。</p>
		<p>若年層の中には、将来年金が受け取れないと思っている人がかなりいる。資産形成の手段の一つとして有効だということを強調してみてもどうか。 一方で、共生とか助け合いといった損得に偏り過ぎない説明も重要。</p>	<p>資産運用だけを目的にすると年金は弱いように思います。やはり、公助とか世代間扶養、国民の義務といったところから説明していければ良いと考えています。</p>

5. 令和5年度の事業計画（1/3）

事業名	取り組み内容	具体的な活動
地域連携事業	市町村、自治会、事業所等の関係機関、関係団体と連携し、年金制度説明会をはじめ地域に根付いた情報提供活動を行います。	<p>①「わたしと年金」エッセイ募集にかかる広報の実施 ⇒「わたしと年金」エッセイ募集のポスター掲示とリーフレット配布の協力を県内全ての中学校、高等学校、大学、専門学校、公共団体等に依頼します。</p> <p>②年金制度説明会の実施 ⇒算定基礎届事務説明会を対面で開催します。(令和5年7月延べ8回開催済み)</p> <p>③関係機関の広報誌等による周知・啓発 ⇒制度周知等のために、関係機関が発行する広報誌等に年金制度に関する記事の掲載を依頼します。</p>
年金セミナー事業	<p>(1)年金セミナーの実施数拡大を目指します。 実施にあたっては、地域年金推進員を活用した効果的なアプローチと併せ、保護者や教職員を対象とした年金セミナーを積極的に実施します。</p> <p>(2)地域年金推進員が効果的に活動できるよう、年金事務所における情報提供等の支援を行っていきます。</p>	<p>①教育機関等における年金セミナーの実施 ⇒高校、大学、短大及び専門学校等において年金セミナーを開催します。 ⇒セミナー講師を担う職員の説明能力を向上させるため、演習や地域年金推進員による技術指導を行います。</p> <p>②年金セミナーの開催拡大に向けた取り組み ＜アプローチ実施＞ ⇒山梨県教育委員会等の各機関に年金セミナー開催協力を依頼します。 ⇒昨年度、年金セミナーを実施した学校は、今年度または来年度においても実施することが可能となるよう開催に向けた依頼を行います。 ＜開催実績の無い学校に対する取組策＞ ⇒地域年金推進員（学校との連絡・調整や生徒へのプレゼン能力に長けた教職員OB・OGの方等）を活用したアプローチを実施します。</p> <p>○地域年金推進員への活動支援 ⇒管理年金事務所・都道府県代表年金事務所にて、活動状況の把握のため、定期的に推進員と連絡を行い、活動のフォローアップをします。 ⇒地域年金推進員が効果的に活動できるよう、連絡会等の実施を検討します。</p>

5. 令和5年度の事業計画（2/3）

事業名	取り組み内容	具体的な活動
地域相談事業	年金事務所が主体となり、市町村、自治会、大学、その他イベント会場等で出張年金相談会を実施します。	<p>①遠隔地等における出張年金相談 ⇒年金事務所の遠方地域や社会福祉施設等において、出張年金相談を実施します。</p> <p>②①で行う出張年金相談以外に実施する出張年金相談会 ⇒令和4年度同様「県民の日」記念式典に出展するほか、大学構内において学生納付特例制度の周知を中心とした出張年金相談会を実施します。</p>
年金委員活動支援事業	(1)年金委員に対する定期的・継続的な情報提供を行い、委員の制度に関する知識の定着及び活動の質の向上につなげる。	<p>①年金委員への情報提供 ⇒新たに年金委員となった方が円滑に活動することができるよう、委嘱時に「職域型（地域型）年金委員活動の手引き」を配付します。 ⇒地域型年金委員が円滑に活動できるよう、年金に関する情報や地域型年金委員に協力をお願いしたい内容等を定期的にお知らせする情報誌を発行します。発行予定月：令和5年4月(発行済)、7月、10月、令和6年1月</p> <p>②年金委員研修会 ⇒WEB会議サービス等を使用した（職域型）年金委員研修会を開催します。</p> <p>③年金委員との意見交換等 ⇒社会保険委員会各支部における会議等において意見交換を実施します。 ⇒地域型年金委員連絡会を定期的を開催し、制度改正等の最新情報の提供を行います。（R5.5.22開催済み、R5.10.10開催予定）</p> <p>④表彰状伝達式の開催 ⇒顕著な功績が認められる年金委員を推薦し、表彰状伝達式を開催します。 令和5年11月開催予定</p>

5. 令和5年度の事業計画（3/3）

事業名	取り組み内容	具体的な活動
年金委員活動 支援事業	(2)年金委員制度を広く周知し、 委嘱拡大に関する取り組みを 実施します。	<p>①年金委員未設置事業所への勧奨 ⇒職域型年金委員の委嘱拡大を図るため、現在、年金委員が設置されていない事業所（主に被保険者数50人以上）へ文書等により委嘱勧奨を行います。</p> <p>②異動時に後任者推薦の協力を要請 ⇒人事異動等により職域型年金委員が大きく減少することのないよう、退任される職域型年金委員に対して後任者推薦について協力を要請します。 また、その年金委員が退職により退任する場合、地域型年金委員の勧奨を行います。</p> <p>③地域型年金委員委嘱数拡大の取組 ⇒高齢者や生活困窮者、若年層への周知・啓発活動を行うため、市町村職員、教育関係者OBを中心に新たな地域型年金委員の獲得を目指します。</p>
地域年金事業 運営調整会議 の開催	地域年金展開事業の事業計画 に係る今後の取組方針や実施結 果を報告し、効果的かつ効率的 な事業運営を行うため地域の有 識者より意見・助言をうかがいます。	<p>○会議でいただいた意見を取り込んで事業を実施 ⇒地域年金事業運営調整会議を定期的で開催し、地域年金展開事業の事業計画に係る取組方針や実施結果などを報告し、効果的かつ効率的な事業運営のための意見・助言をうかがいます。 ⇒会議でいただいた意見を踏まえ、当該年度の事業運営を実施します。</p>